

第52回(2006年度) 鎌倉市小・中・高学生音楽コンクール
上位入賞者による

フレッシュ コンサート

Fresh Concert

2007年 8月 12日(日)

13:30 開場 14:00 開演

鎌倉生涯学習センター・ホール

J R 鎌倉駅東口 徒歩1分

主催：鎌倉音楽クラブ

後援：鎌倉市文化協会／株式会社ヤマハミュージック横浜／JCM 鎌倉（鎌倉ケーブルテレビ）

PROGRAM

横山 金海 (ヴァイオリン) ピアノ 中沢 美紀
ヴェータン／ヴァイオリン協奏曲 第4番 Op.31 ニ短調 第1楽章

稲畑 環 (ヴァイオリン) ピアノ 杉山恵理子
モーツァルト／ヴァイオリン協奏曲 第5番 K.219 イ長調 第1楽章

尾城 杏奈 (ピアノ)
ベートーヴェン／ピアノソナタ Op.14-2 ト長調 第1、3楽章

村上 真也 (ピアノ)
ラヴェル／ソナチネ

福井 綾 (チェロ)
バッハ／無伴奏チェロ組曲 第2番 BWV1008 ニ短調より
プレリュード・アルマンド・クーラント

—— 休 憩 ——

眞鍋 美幸 (ソプラノ) ピアノ 田母神 舞
グルック／オペラ「パーリデとエーレナ」より
～ああ私の優しい熱情が～
プッチーニ／オペラ「ジャンニ・スキッキ」より
～私のいとしいお父さま～

山縣 郁音 (ヴァイオリン)
イザイ／無伴奏ヴァイオリンソナタ 第3番 Op.27 “バラード”

江夏真理奈 (ピアノ)
シューマン／ピアノソナタ 第2番 Op.22 ト短調

丸山 韶 (ヴァイオリン) ピアノ 丸山 奏
プーランク／ヴァイオリンとピアノのためのソナタ FP119 より
第1楽章
ルクー／ヴァイオリンとピアノのためのソナタより 第3楽章

ごあいさつ

本日はお暑い中をお越し下さり有難うございます。

今年は鎌倉音楽クラブ創立60周年に当たります。この節目の年に昨年度の当クラブ主催のコンクールで見事上位入賞なさった方々の瑞々しい演奏をお聴き頂きたく存じます。出演者の皆様は今日の演奏を糧にして更に音楽性豊かに成長して下さいますよう心より願っております。

どうぞ最後までごゆっくりお聴き下さいませ。

鎌倉音楽クラブ会長 吉田 よし

【プロフィールと演奏者による曲目解説】



横山 金海 (よこやま かなみ)

3歳半よりヴァイオリンを始める。4歳半より桐朋学園子供のための音楽教室鎌倉・横浜教室入室。第51回鎌倉市学生音楽コンクール小学校低学年の部第3位、第52回小学校低学年の部第1位鎌倉市教育委員会賞受賞。5歳半より山室敦子氏に師事。藤沢市立鵜南小学校4年生。

ヴェータン／ヴァイオリン協奏曲 第4番 Op.31 ニ短調 第1楽章

この曲は、シューマンが「小さなパガニーニ」となぞらえたベルギー人の技巧派ヴァイオリニストで作曲家のヴェータンが1853年に作曲しました。彼は全部で7曲のヴァイオリン協奏曲を作曲しましたが、4番と5番がもっとも人気があり、4番は協奏曲としてはあまり前例のない交響曲風のスケルツォ楽章を持つ4楽章で構成されていて、ヴァイオリン協奏曲で初めてハーブを使用した曲として知られています。私のひく第1楽章は情熱的な所とリズムカルな所があるととてもすてきな楽章です。



稲畑 環 (いなはた たまき)

4歳よりヴァイオリンを始める。第48回鎌倉市学生音楽コンクール小学校低学年の部奨励賞受賞。2004年かながわ音楽コンクール小学校中学年の部特選。第51回鎌倉市学生音楽コンクール小学校高学年の部第3位、第52回小学校高学年の部第1位鎌倉市教育委員会賞受賞。森川ちひろ氏に師事。桐蔭学園女子部中学1年生。

モーツァルト／ヴァイオリン協奏曲 第5番 K.219 イ長調 第1楽章

この曲は、モーツァルトが19歳の時作曲されました。ヴァイオリンの名手でもあったモーツァルトのヴァイオリンコンツェルトは5曲あり、第5番はその中でも最後のコンツェルトにふさわしく、内容が最も充実したもので、特に「トルコ風」と呼ばれています。この第1楽章はアレグロ・アペルト(快活)、ソナタ形式です。カデンツァはヨアヒムによるものです。



尾城 杏奈 (おじろ あんな)

P T N A ピアノコンペティション全国大会2004年 A1級ベスト賞、2006年 B 級銅賞。2005年 ショパンコンクール in ASIA 全国大会入選。第52回鎌倉市学生音楽コンクール小学校低学年の部第1位鎌倉市教育委員会賞受賞。2007年全日本ジュニアクラシック音楽コンクール小学生の部第1位。日比谷友妃子氏に師事。横浜市立笠間小学校4年生。

ベートーヴェン／ピアノソナタ Op.14-2 ト長調 第1,3楽章

この作品は、ベートーヴェンの32曲からなるピアノソナタの初期の終わり頃の作品です。第1楽章(アレグロ)は両手で対話する様な第1主題を持ち、展開部でははげしくなりますが、全体にのどかな雰囲気が漂っています。第3楽章(スケルツォ アレグロ アッサイ)主部はヘミオラのリズムを持ち、全体に軽やかな音型や曲想に特徴があります。私は、美しいメロディーが次々とあふれ出てくるこの曲が大好きです。これから沢山お勉強をしていつか「月光」や「悲愴」が弾けるようになりたいです。



村上 真也 (むらかみ しんや)

1999年より4年連続阪神ジュニア音楽コンクール金賞、阪神文化団体協議会長賞他受賞。ヤマハヤングピアニストコンサートにて度々金賞。ファイナル演奏会出演。第52回鎌倉市学生音楽コンクール小学校高学年の部第1位鎌倉市教育委員会賞。中本友子、古川五巳各氏に師事。ソルフェージュを甲斐由美子氏に師事。鎌倉市立腰越中学校1年生。

ラヴェル／ソナチネ

「ソナチネ」は1905年に作曲されたもので、初期の手法によっているのも、まだビロードのようなラヴェル独特の柔らかいハーモニーに満ちています。ラヴェルがまだ完全な作曲形式について考えたらなかった頃のことです。詩的感情のおもむくままに作曲したものです。しかしラヴェルのハーモニーの繊細さと新しい和音にもかかわらず、「ソナチネ」はやはりクラシックの形式をそなえているのです。ラヴェルのすべては若年のこの作品にすでに潜在しているといえるでしょう。



福井 綾 (ふくい あや)

北鎌倉女子学園中学音楽コース、高校音楽科卒業。2004、2005年と、倉田澄子氏による「白馬ミュージックセミナー」に参加。第52回鎌倉市学生音楽コンクールチェロ部門第2位鎌倉音楽クラブ賞受賞(1位なし)。齋藤章一、宮城健、山崎伸子の各氏に師事。東京藝術大学1年在学中。

バッハ／無伴奏チェロ組曲 第2番 BWV1008 ニ短調より プレリュード・アルマンド・クーラン

無伴奏チェロ組曲は、通奏低音を奏する楽器としてではなく、独奏楽器としてのチェロのために作られたという点で、作曲された当時においては斬新であった。また、多声的要素や重音奏法による多彩な音楽性をもつという点でとても優れた作品であり、現在ではチェロ奏者にとってのバイブルともいえる作品群になっている。この第2番は組曲の中でも静けさや悲しみを秘めているように聞こえ、冒頭にニ短調の和音が提示され、静かに曲が始まっていく。



眞鍋 美幸 (まなべ みゆき)

北鎌倉女子学園中学音楽コース、高校音楽科卒業。第52回鎌倉市学生音楽コンクール声楽部門第2位音楽クラブ賞受賞(1位なし)。小沢美和、保永秀樹、大川隆子の各氏に師事。東京音楽大学音楽学部声楽科1年在学中。

グルック／オペラ「パリーデとエーレナ」より “ああ私の優しい熱情が” プッチーニ／オペラ「ジャンニ・スキッキ」より “私のいとお父さま”

グルックは18世紀に活躍したオペラ作曲家です。“ああ私の優しい熱情が”は、歌劇「パリーデとエーレナ」第1幕の、パリーデのアリアです。恋人を思うせつなさを歌っています。プッチーニの歌劇「ジャンニ・スキッキ」は、大富豪の遺産相続をめぐる、プッチーニ唯一の喜劇です。遺族の若者と娘のラウレッタの結婚話で揉めて、ヘソを曲げている父親のスキッキに対して、ラウレッタが「私のいとお父さま」彼と結婚させて！とお願いします。



山縣 郁音（やまがた いくね）

1999年厚木青少年音楽コンクールで受賞。2002年第56回全日本学生音楽コンクール入選。2004年かながわ音楽コンクール特選。2005年ドイツ・ハノーヴァー音楽大学サマーアカデミー参加、演奏会出演。第52回鎌倉市学生音楽コンクール中学校の部第1位鎌倉市教育委員会賞。恵藤久美子氏に師事。桐朋女子高等学校音楽科1年在学中。

イザイ／無伴奏ヴァイオリンソナタ 第3番 Op.27 “バラード”

ウジェーヌ・イザイはベルギーのヴァイオリン奏者、指揮者、作曲家で、リエージュ音楽院で学び、さらにブリュッセルでヴィエニャフスキに、パリでヴュータンにも師事しました。1923年にイザイはシゲティが演奏するパッハの無伴奏ヴァイオリンソナタに触発され、6曲の無伴奏ヴァイオリンソナタを作曲しました。それぞれのソナタはこの時代に生きた名ヴァイオリニストに捧げられています。3曲目にあたるこの曲はエネスコに捧げられ、「バラード」という副題が示すようにラブソディー風の1楽章形式のソナタです。



江夏 真理奈（こうか まりな）

3歳よりピアノを始め、小6、中2でリサイタル開催。第44、48、50、52回鎌倉市学生音楽コンクール各部門第1位、52回総合第2位市議会議長賞。P T N Aピアノコンペティション全国大会Jr. G級ベスト賞、G級入選。日本クラシックコンクール全国中学校の部最高位他国内外のコンクールで数多く受賞。東京音大付属高校ピアノ演奏家コース2年在学中。

シューマン／ピアノソナタ 第2番 Op.22 ト短調

ソナタ第2番 g mol1は1833年から38年にかけて作曲され、1839年に出版されたものです。シューマンの作品はソナタのような形式的な枠組に当てはまらない幻想的な作品が多いのに対してソナタ第2番はソナタらしくコンパクトに集約されています。1、3、4楽章は急速なテンポで展開し進んで行きます。その中で2楽章だけはシューマンらしい魅力的な叙情が溢れ出て対比を成しています。



丸山 韶（まるやま しょう）

1990年横浜生まれ。第1回、第2回Y B P国際音楽コンクール奨励賞。第52回鎌倉市学生音楽コンクール総合第1位鎌倉市長賞。第1回東京サミット音楽コンクール審査員賞。第12回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール高校生部門最高位。清水厚師、安富洋、清水高師の各氏に師事。県立弥栄東高等学校音楽コース2年在学中。

プーランク／ヴァイオリンとピアノのためのソナタ FP119より 第1楽章

フランシス・プーランク（1899～1963フランス） 軽妙な機知とユーモア、みずみずしい詩的情緒あふれた作風で知られるが、この曲は第2次大戦の最も苦しい時期にフランスの名ヴァイオリニスト、ジネット・ヌヴェーのために作曲され、ガルシア・ロルカ（プーランクと同年生まれのスペインの革命的詩人）の思い出に捧げられている。

ルクー／ヴァイオリンとピアノのためのソナタより 第3楽章

ギョーム・ルクー（1870～1894ベルギー）はパリでフランクに学びドイツロマン派の影響、印象主義的傾向、民謡的要素の利用など、個性的な作風の曲を次々と発表した。が、24歳で急逝。この曲は1891年E. イザイの委嘱により作曲、彼の代表作となった。